



発行所  
 横浜市中区港町1-1  
 電話(045)543-7190番

横浜市庁舎内  
 港記者室  
 電話(045)671-3325  
 主筆 三村 貞夫

中田 宏前市長は「刎頸の友」中山大輔議員に裏切られ、嵌められた。

中田 宏横浜市長43歳、「私の中に指入れ「合コン」と「口封じ恫喝肉声テープ」『週刊現代』平成19年11月10日号』『週刊現代』平成19年11月17日号』『性器に指入れ』報道を「捏造」で「提訴」とは笑止

中田 宏前市長は看護学校の生徒と「合コン」したと告発したのは、中田 宏と刎頸の関係にあった中山大輔議員の捏造(悪質な作文)が発端。

中田 宏は東京地方裁判所に名誉毀損で提訴し、審理が続けられた結果、『性器に指入れ』された被害者がいなかった。以下は、中山議員のホームページから引用。

皆さんこんにちは

横浜市区議員(神奈川区)の『中山だいですけ34』です。

27歳で市会最年少当選・現在7年目(2期目)活動中!!!

しがらみのない、住民本意の市政の実現を訴え市会最年少当選(27歳)から7年。今後も

市民の目線に立ち、地域の声を大事にし、謙虚に耳を傾けながら、清廉潔白をモットーに正義感のある活動を行います。

長引く不況と財政赤字など日本を覆いつくしている閉塞感を打ち破るためには私たちが若い世代は立ち上がらなければならぬと感じています。

将来の日本・そして横浜のために、若い力を存分に発揮し頑張っていきたいと思えます。

横浜市政に全力投球!!!

財政の健全化  
 (横浜の将来に向けて)

医療・福祉の充実  
 (市民の健康を守る医療の充実)

子供たちの為の教育改革  
 (夢のある教育)

高齢者にやさしい街づくり  
 (高齢者の住み良い町に)



一難去つてまた一難

中田 宏前市長は、「私の中に指入れ「合コン」と「口封じ恫喝肉声テープ」『週刊現代』平成19年11月10日号』『週刊現代』平成19年11月17日号』『性器に指入れ』報道を「捏造」で「提訴」。東京地方裁判所で名誉毀損か否かの審理が続けられた結果、『性器に指入れ』された被害者がいなかった。

中山大輔議員の捏造(悪質な作文)と判断されている。

ところが、華鈴灯の奈々との『情交』は横浜地裁で審理が進められ、1月21日に中田 宏の釈明要求で『何月何日、どこで『情交』を結んだか、部屋番号は』等と『悪魔の立証』をせよと(不転の決意)迫っている。

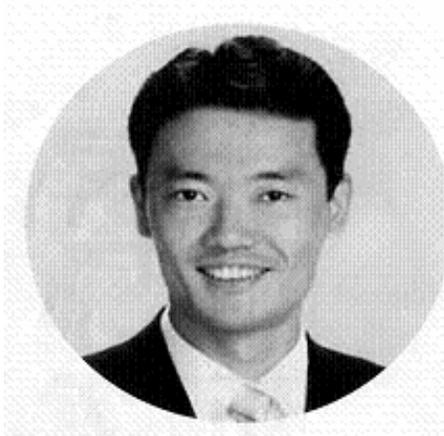
『指入れ合コン』は被害者が出て来なかったから中田 宏は九死に一生を得たに過ぎない。結婚詐欺か売買春かは別に、奈々が現実に中田の前に存在し『情交』を結んだと証言しているから捏造ではない。

中田の将来を占う裁判の行方が注目される所以である。

記者の目

異性間の情交も、賄賂の目的物となる。(最高裁の判例)

上の写真は平成15年10月27日に撮影されたもので、見える顔がずらりと並んでいるのが印象的である。



●中田宏市長



●報道された関内のクラブ

勿頭関係の結末や如何に、